

事業所名

放課後等デイサービス 夢来

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

24 日

法人（事業所）理念		本人と家族が住み慣れた場所で生きる権利を守り、楽しく安心して過ごせる生活の実現に向けてサポートする。 地域福祉の向上のため、地域との繋がりを大切に親しみある事業所を目指す。							
支援方針		障がいを持ちながらも、本人のもっている力を発揮し、自分らしく過ごすことができるように、個々の想いや意欲を大切に。 支援においては児童指導員をはじめ、介護職員、看護師、リハビリ職員などが様々な角度から子どもの姿を捉え、支援内容を検討し、実践する。 地域で過ごす一員として、地域の行事や社会資源（公園、スーパー、神社など）へ積極的に出向き、地域の方々との交流を図る。							
営業時間		13 時	30 分	17 時	45 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人 支 援	健康・生活	本人が安心して定期的に継続した通所ができる。 本人なりに穏やかで楽しく過ごせる空間を作る。							
	運動・感覚	本人の持っている力や身体の発達状態に応じた支援を行う。 そのために職員は、特性やストレンクス、どのような反応があるかを注意深く読み取り、支援に活かす。 できるだけマッサージ等で体をほぐし、身体機能の維持向上を目指す。 季節を感じる取り組みに参加する。(春：公園での花木の香りやお花見 夏：プール 秋：紅葉 冬：雪)							
	認知・行動	本人の主体的な意欲、やりたい気持ちなど内面から出ているものを尊重する。 生活年齢や発達年齢を考慮しつつ、その人らしさを大切にする。 子どもに応じて、わかりやすいように予定や活動内容を伝える。							
	言語 コミュニケーション	本人からの小さな表出を受け止め、思いが伝わることの喜びを通じて、伝えることへの意欲を高める。 具体的なコミュニケーション手段を探り、できるだけ客観的にもわかる・伝わる方法を本人と見つけていく。 職員は、発声・表情・手話などの表出から本人の伝えたいことを読み取り代弁する。実物や絵カードなどお互いに伝わりやすい方法を用いる。							
	人間関係 社会性	本人の好きな遊びや、自分の思いが相手に伝わり、応じてもらえる経験を通じて大人との信頼関係をつくる。 職員や他児と一緒に遊ぶこと、異年齢の子どもと触れ合うこと、集団での楽しい時間、場面を共有することなどを目指す。 集団生活におけるマナーやルール、年齢相応の役割、気持ちの持ち方など、本人に応じたスキルを身につけていく。							
家族支援		安定して継続した通所ができるように関係を築く。 希望者への入浴支援にて負担軽減をはかる。 保護者交流会、学習会を開催したり、制度や進路について共に考えサポートしていく。				移行支援		進路が法人内の生活介護の場合は引継ぎを行う。また、居宅介護も利用しながら保護者の就労を支援する。 本人が参加できる地域での活動(リサイクル等のエコ活動)をサポートする。	
地域支援・地域連携		地域住民との日常的な挨拶ややり取りを行う。 近くの神社や町内会の祭りへの参加し、地域交流を図る。 近所のお店への買い物、リサイクル活動、公園への散歩など地域で過ごすことをサポートする。				職員の質の向上		日々の打ち合わせで、前日の振り返りと周知事項を確認し安全・安心に支援する。 新入社員は、身体拘束及びに虐待防止や重度心身障害児者の研修を1ヶ月以内に受ける。 研修として、救命救急講習、身体拘束の是正及び虐待防止、感染症対策、避難訓練などに取り組み日々の支援に活かす。	
主な行事等		お花見・プール・ミニ夏祭り・卒業式 親子クリスマス会、保護者勉強交流会							